

施策評価シート

施策コード	4203	平成25年度 第9次鳥取市総合計画		
施策名	中心市街地の活性化	所属名	都市整備部	中心市街地整備課

1. 基本情報

位置 づけ の 計 画	体系区分	コード	名称
	まちづくりの目標	40	緑あふれる 日本一のふるさとづくり
	政策	02	快適で利便性の高い住みよい都市機能をつくる

2. 施策の概要【PLAN】

現状と課題	<p>○本市の中心市街地は、県東部地域最大の交通の要衝である鳥取駅を有し、多くの商業機能、文化機能が集積した経済・交流の中心であるが、自家用車の普及などにより、歩行者通行量の減少、空き店舗の増加、居住人口の減少などが進展しており、魅力とにぎわいの創出が課題となっている。</p> <p>○平成25年度に「第2期鳥取市中心市街地活性化基本計画」の内閣総理大臣認定を受けた。この計画では、「街なか居住の推進」「賑わいの創出」を基本方針に据え、既存ストックの活用による街なか居住の推進や地域資源の活用等による観光交流の促進など、重点施策を中心に各種施策に取り組んでいく。</p>
めざす方向	中心市街地と周辺地域の生活拠点とが連携した魅力ある多極型のコンパクトな都市づくりを進める中で、都市機能が高度に集積した、魅力とにぎわいのあふれる中心市街地へ再生を図る。
達成するための対策・手段	①鳥取駅周辺エリアの再整備 ②街なか居住の推進 ③商店街のにぎわい形成 ④鳥取城跡観光の推進

3. 施策の成果を把握していくための指標【PLAN・DO】

成果指標	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
				目標	実績	目標達成率	目標	実績
1	中心市街地居住人口	人	目標	12700	12800	12850	12900	12950
			実績	12504	12387	12407	0	0
			目標達成率	98%	97%	97%		
(指標の説明) 「鳥取市中心市街地活性化基本計画」に定める中心市街地の区域の居住人口。(基準値は平成21年度)								
2	中心市街地の休日の歩行者通行量 (30地点合計)	人	目標	36000	37000	38000	39000	40000
			実績	40073	35671	43812	0	0
			目標達成率	111%	96%	115%		
(指標の説明) 中心市街地の30地点の休日1日(10～19時)あたりの歩行者通行量の合計。(基準値は平成22年度)								
3			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
			目標達成率					
(指標の説明)								

4. 施策を進めるに当たって要する(した)経費【PLAN・DO】

(単位:千円)

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
決算額	121,574	82,941	96,492	0	0

5. 施策の成果【CHECK】

施策の成果 (成果が上がっているか、政策の目標実現に貢献しているか)	平成25年度は「第2期鳥取市中心市街地活性化基本計画」の初年度であった。年度末時点で、基本計画掲載56事業のうち2事業が完了、52事業が実施中、2事業が未着手。基本計画の目標指標は概ね達成しており、引き続き中心市街地活性化に向けて各種事業に取り組む。
---------------------------------------	---

6. 今後の施策の方向性【ACTION】

方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡大 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 維持継続 <input type="checkbox"/> 4. 縮小廃止
担当部長評価コメント (部としての施策の方向性) ※市民等との協働の推進、行財政改革の推進の視点を踏まえて記載	中心市街地の活性化は、本市が進める「多極型のコンパクトなまちづくり」を実現するための柱である。今後は、「第2期鳥取市中心市街地活性化基本計画」に基づき、「街なか居住の推進」と「賑わいの創出」に向けた様々な事業を実施していく。

7. 市民アンケートに対する方向性

市民アンケートに対する方向性	【重要度:27位、満足度:24位、ニーズ度:20位】 ●重要度、満足度が低いことから、より満足度の向上を図るよう取り組みを進める必要がある。
----------------	---

事務事業評価シート

事務事業コード	001940	重点事業区分	リープロ3	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	鳥取駅周辺再生整備事業(太平線再生)		所属名	都市整備部 中心市街地整備課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	緑あふれる 日本一のふるさとづくり		事業期間	平成23年度 ~ 全期
	政策	02	快適で利便性の高い住みよい都市機能をつくる		根拠法令、根拠計画等	
施策	4203	中心市街地の活性化				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	建設、整備
	中心市街地居住人口		2,504人	2,950人	運営方法	補助金交付
	中心市街地の休日の歩行者通行量(30地点合計)		73人	0人	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	鳥取駅前太平線再生プロジェクト事業費			予算事業コード	01-07-05-01-31-01

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	鳥取駅前太平線沿道の商店街等
意図 (どのような状態にするために)	官民共同により人が集まる魅力的な空間に変え、中心市街地再生のシンボルスクエアとする。
手段 (どうするのか)	太平線で開催するイベントを支援することにより、太平線への来街者呼び込み、駅周辺の活性化を図る。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 鳥取駅前太平線再生プロジェクトの実施	平成24年度 鳥取駅前太平線再生プロジェクトの実施	平成25年度 鳥取駅前太平線再生プロジェクトの実施	平成26年度 鳥取駅前太平線再生プロジェクトの実施	平成27年度 鳥取駅前太平線再生プロジェクトの実施	
	年度別実績	鳥取駅前太平線再生プロジェクトの実施	鳥取駅前太平線再生プロジェクトの実施	鳥取駅前太平線再生プロジェクトの実施			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	22,084	37,469	15,728	0	4,000	
	直接経費 A	20,360	33,533	4,800	0	4,000	
	直接経費の財源内訳	国・県	7,046	16,766	0	0	0
		地方債	7,100	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	6,214	16,767	4,800	0	4,000	
人件費 B	1,724	3,936	10,928	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.23	0.53	1.50	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
		中心市街地の休日の歩行者通行量(30地点合計)	人	目標	36000	37000	38000	39000	40000
	実績	40073	35671	43812	0	0			
(指標の説明) 中心市街地の30地点の休日1日(10~19時)あたりの歩行者通行量の合計									
2	目標	0	0	0	0	0			
	実績	0	0	0	0	0			
(指標の説明)									
3	目標	0	0	0	0	0			
	実績	0	0	0	0	0			
(指標の説明)									

5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	【問合せ先】 中心市街地整備課 0857-20-3278
	【9次総施策体系】 4203
	【予算計上の経過】 当初予算・P221(都030)
	【事業の概要】 太平線再生プロジェクトの事業効果を最大限に発揮させるため、太平線で開催されるイベントに特化した補助制度を創設することで、太平線への来街者呼び込み、駅周辺の活性化を図る。
	【事業の成果】 駅前商店街や各種団体等が主体となり、太平線の賑わいの創出、集客力の向上に資するイベントを実施したことで、約85,000人もの来街者を呼び込むことができた。 イベント開催時以外においても平成25年度の平日の歩行者通行量が駅前太平線周辺で増加傾向(H23年度 20,840人、H24年度 17,052人、H25年度 21,999人)となり、プロジェクトの効果が徐々に見え始めている。
【今後の課題・方向性】 引き続き、駅前太平線バード・ハットの管理運営、イベントに対する支援を行う。	

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	中心市街地の休日の歩行者通行量(30地点合計)	111%	96%	115%		
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	中心市街地の核である鳥取駅周辺を活性化させるための事業であり、妥当である。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	中心市街地の核である鳥取駅周辺を活性化させるための事業であり、駅周辺のイベントによる集客数や歩行者通行量が増加傾向になるなど有効な事業である。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	鳥取駅周辺は中心市街地の核であり、重点的に活性化策を講じる必要があるため、効率的である。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	鳥取駅周辺は中心市街地の核であり、重点的に活性化策を講じる必要があるため、公平である。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	平成25年7月にオープンしたバードハットでは、イベントを38件実施し、約85千人の来街者があった。全天候型の芝生広場等を活用することで新たな賑わいの拠点と認知されてきている。本事業は、駅周辺の再生、賑わい創出に不可欠なものであり、今後も官民一体でイベントを支援していきたい。	

事務事業評価シート

事務事業コード	001942	重点事業区分	リープロ3	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	鳥取駅周辺再生整備事業(鳥取駅周辺整備)		所属名	都市整備部 中心市街地整備課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	緑あふれる 日本一のふるさとづくり		事業期間	平成22年度 ~ 全期
	政策	02	快適で利便性の高い住みよい都市機能をつくる		根拠法令、根拠計画等	
施策	4203	中心市街地の活性化				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	中心市街地居住人口		2,504人	2,950人	運営方法	外部委託
	中心市街地の休日の歩行者通行量(30地点合計)		73人	0人	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	鳥取駅周辺再生整備事業費			予算事業コード	01-07-05-01-31-04

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	鳥取駅周辺地区
意図 (どのような状態にするために)	「多極型コンパクトシティ」の実現に向け、今後30年を見据えた中心核としての再生を図る。
手段 (どうするのか)	基本計画にもとづく施設整備の実施設計・工事および事業調整

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 鳥取駅周辺再生基本計画の策定、事業調整業務	平成24年度 基本計画にもとづく施設整備の基本設計、事業調整	平成25年度 基本計画にもとづく施設整備の実施設計および事業調整	平成26年度 基本計画にもとづく施設整備の実施設計・工事および事業調整など	平成27年度 基本計画にもとづく施設整備の実施設計・工事および事業調整など	
	年度別実績	鳥取駅周辺再生基本計画の策定、事業調整業務	鳥取駅周辺再生基本計画の策定、事業調整業務	基本計画にもとづく施設整備の実施設計および事業調整			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	46,297	13,829	33,587	0	3,000	
	直接経費 A	26,580	1,353	22,659	0	3,000	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	7,906	0	0
		地方債	0	1,000	7,400	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	26,580	353	7,353	0	3,000
人件費 B	19,717	12,476	10,928	0	0		
職員数の内訳	正規職員	2.63	1.68	1.50	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
		中心市街地の休日の歩行者通行量(30地点合計)	人	目標	36000	37000	38000	39000	40000
			実績	40073	35671	43812	0	0	
	(指標の説明)	中心市街地の30地点の休日1日(10~19時)あたりの歩行者通行量の合計							
2				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
3				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)								

5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 中心市街地整備課 0857-20-3278</p> <p>【9次総の施策体系】 4203</p> <p>【予算計上の経過】 当初予算・P222(都031)</p> <p>【事業の概要】 本市がめざす「多極型のコンパクトなまちづくり」の実現に向け、今後30年を見通した中心核としての鳥取駅周辺の再生を図る。</p> <p>【事業の成果】 「鳥取駅周辺再生基本計画」に位置付ける鳥取駅周辺での歩行環境整備や、駐車場利用の利便性向上のため、調査及び検討を行なった。 交通量を平成20年度と比較した結果、平日においては概ね変化がなかったが、休日において自動車、歩行者、自転車とも通行量が増えており、整備された駅前太平線(バード・ハット)のイベント等による集客や、それに伴う周辺駐車場への乗り入れによる効果が現れたと考えられる。 一方、渋滞の有無の確認や交差点需要率等による分析を行なった結果、駅前太平線及び周辺の交差点では交通容量に余裕があり、駅前太平線の車線減少による周辺の自動車交通への影響は小さいとみられることがわかった。</p> <p>【今後の課題・方向性】 分析結果をもとに、鳥取駅北口と商店街との間の歩行者の回遊性を向上するための移動円滑化など歩行環境の整備について検討する。 平成26年度は「鳥取駅周辺再生基本計画」の推進のため、鳥取駅北口トイレの整備、社会資本総合整備計画の策定等を行う。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	中心市街地の休日の歩行者通行量(30地点合計)	111%	96%	115%		
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	中心市街地の核である鳥取駅周辺を活性化させるための事業であり、目的は妥当である。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	中心市街地の核である鳥取駅周辺を活性化させるための事業であり、有効である。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	鳥取駅周辺は中心市街地の核であり、重点的に活性化策を講じる必要があるため、効率的である。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	鳥取駅周辺は中心市街地の核であり、重点的に活性化策を講じる必要があるため、公平である。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント <small>鳥取駅周辺再生基本計画では、様々な事業を計画している。平成25年度は、駅北側の歩行者動線の拡充を検討するため、市道駅前太平線完成後の交通量調査及び分析を行った。今後も、基本計画掲載事業を実施し、中心市街地の活性を図る。</small>		

事務事業評価シート

事務事業コード	001920	重点事業区分	—	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	街なか居住推進事業(街なか居住)		所属名	都市整備部 中心市街地整備課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	緑あふれる 日本一のふるさとづくり		事業期間	全期
	政策	02	快適で利便性の高い住みよい都市機能をつくる		根拠法令、根拠計画等	
施策	4203	中心市街地の活性化				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	中心市街地居住人口		2,504人	2,950人	運営方法	直営
	中心市街地の休日の歩行者通行量(30地点合計)		73人	0人	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	街なか居住推進事業費			予算事業コード	01-02-01-07-35-03

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	中心市街地の空家や低未利用地 土地や既存住宅の有効利用を希望する所有者や、多様なニーズを持った需要者
意図 (どのような状態にするために)	中心市街地の空家や低未利用地の利活用を図り、中心市街地の居住推進を図る。
手段 (どうするのか)	住宅供給に関する総合的な相談窓口を設置するとともに、コミュニティに寄与する住宅を建設する者や、中心市街地に住宅を取得する者などに対して支援する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	年度別実績	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	12,710	23,345	9,691	0	10,347	
	直接経費 A	565	12,577	3,717	0	10,347	
	直接経費の財源内訳	国・県	187	8,281	205	0	5,142
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	378	4,296	3,512	0	5,205	
人件費 B	12,145	10,768	5,974	0	0		
職員数の内訳	正規職員	1.62	1.45	0.82	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	中心市街地居住人口	人	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
				目標	12700	12800	12850	12900	12950			
	実績	12504	12387	12407	0	0						
	(指標の説明)「鳥取市中心市街地活性化基本計画」に定める中心市街地の区域の居住人口											
	2	中心市街地居住人口(社会増減数)	人	目標	0	0	1	1	1			
				実績	0	0	13	0	0			
(指標の説明)「鳥取市中心市街地活性化基本計画」に定める中心市街地の区域の居住人口(社会増減数)												
3			目標	0	0	0	0	0				
			実績	0	0	0	0	0				
(指標の説明)												

5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 中心市街地整備課 0857-20-3276</p> <p>【9次総の施策体系】 4203</p> <p>【予算計上の経過】 当初予算・P219 (都026)</p> <p>【事業の概要】 中心市街地における空地・駐車場などの低未利用地の急激な増加に対応するため、住宅供給に関する総合的な相談窓口を設置するとともに、コミュニティに寄与する住宅を建設する者や、中心市街地に住宅を取得する者などに対し支援をおこなう。</p> <p>【事業の成果】 街なか居住を推進するための多面的な体制を構築し、さまざまなニーズに対して情報提供を行うことで、街なか居住人口の増加を図った。</p> <p>【今後の課題・方向性】 支援制度の周知徹底を行い、中心市街地への居住を促進する。また、従来の補助金等に頼った行政主導の進め方ではなく、民間主導による仕組みを構築する。新たな取り組みとして、遊休不動産を活用した民間主体のまちづくりを促進するための担い手の育成を行う。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	中心市街地居住人口	98%	97%	97%		
	2	中心市街地居住人口(社会増減数)			1300%		
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	第2期鳥取市中心市街地活性化基本計画の基本方針である「街なか居住の推進」のため、中心市街地の居住人口増加は必要不可欠である。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	居住人口の下げ止まりが見られるため、有効性の高い事業である。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	民間事業者や関係機関などと連携しており、今後は民間活力による展開が見込まれるため、効率性の高い事業である。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	街なか居住希望者や中心市街地の土地所有者に対して、支援制度などの情報提供を広く図っていることから、公平である。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント <small>第2期鳥取市中心市街地活性化基本計画では、街なか居住の推進を基本方針の一つとしている。現在までの取り組みのほかに街なか居住を選択してもらうための誘導策や既存ストックの活用として、宅地建物取引業協会と連携のうえ、空き家バンクを設立し情報提供等も強化していきたい。</small>		

事務事業評価シート

事務事業コード	001923	重点事業区分	—	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	中心市街地活性化事業(イベント助成事業)		所属名	都市整備部 中心市街地整備課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	緑あふれる 日本一のふるさとづくり		事業期間	平成19年度 ~ 全期
	政策	02	快適で利便性の高い住みよい都市機能をつくる		根拠法令、根拠計画等	
施策	4203	中心市街地の活性化				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	中心市街地居住人口		2,504人	2,950人	運営方法	補助金交付
	中心市街地の休日の歩行者通行量(30地点合計)		73人	0人	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	中心市街地活性化助成事業費			予算事業コード	01-06-01-02-26-02

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	中心市街地で開催されるイベント
意図 (どのような状態にするために)	集客を増やし、活力や賑わいの回復による中心市街地の再生を図る
手段 (どうするのか)	中心市街地内で公募提案型集客イベント等を実施する者に対して補助金を交付する

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
内容	年度別計画	・イベント実施者へ補助 ・街なか駐車場無料開放デーを実施する商店街等へ補助	・イベント実施者へ補助 ・街なか駐車場無料開放デーを実施する商店街等へ補助	・イベント実施者へ補助	・イベント実施者へ補助	・イベント実施者へ補助	
	年度別実績	・イベント実施者へ補助 ・街なか駐車場無料開放デーを実施する商店街等へ補助	・イベント実施者へ補助 ・街なか駐車場無料開放デーを実施する商店街等へ補助	・イベント実施者へ補助			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	6,621	6,448	6,793	0	5,600	
	直接経費 A	5,871	5,928	5,336	0	5,600	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	5,871	5,928	5,336	0	5,600	
人件費 B	750	520	1,457	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.07	0.20	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	1	中心市街地の休日の歩行者通行量(30地点合計)	人	目標	36000	37000	38000	39000	40000
				実績	40073	35671	43812	0	0
	(指標の説明) 中心市街地の30地点の休日1日(10~19時)あたりの歩行者通行量の合計								
2				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									
3				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									

5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	【問合せ先】 中心市街地整備課 0857-20-3276															
	【9次総の施策体系】 4203															
	【事業の概要】 中心市街地区域内における民間イベント等の開催を支援することにより、中心市街地への集客によるにぎわい創出、中心市街地に対する関心喚起、中心市街地活性化に取り組む人材の育成をめざす。															
	【事業の成果】 年間を通じて来街者の呼び込みにつながっているほか、さまざまな媒体を通じてイベント情報が発信されることにより、中心市街地への関心喚起が図られている。															
	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>補助件数</td> <td>参加者数</td> <td>新規主催者数</td> </tr> <tr> <td>平成23年度</td> <td>18件</td> <td>42,823人</td> <td>11件</td> </tr> <tr> <td>平成24年度</td> <td>16件</td> <td>17,444人</td> <td>7件</td> </tr> <tr> <td>平成25年度</td> <td>16件</td> <td>14,602人</td> <td>3件</td> </tr> </table>		補助件数	参加者数	新規主催者数	平成23年度	18件	42,823人	11件	平成24年度	16件	17,444人	7件	平成25年度	16件	14,602人
	補助件数	参加者数	新規主催者数													
平成23年度	18件	42,823人	11件													
平成24年度	16件	17,444人	7件													
平成25年度	16件	14,602人	3件													
【今後の課題・方向性】 公募提案型イベントへ補助することで、まちづくりを担う人材育成や交流の拡充につながっている。近年は、新規主催者数が減少傾向にあるため、広く公募するよう多くの方に活用していただくとともに、発展性のあるイベントに支援していきたい。																

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	中心市街地の休日の歩行者通行量(30地点合計)	111%	96%	115%		
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	中心市街地の魅力を高め、賑わい創出等を図るため、イベントの誘致が必要不可欠である。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	中心市街地への関心を高めるとともに企画立案者の育成も期待できることから、有効性の高い事業である。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	公募提案型のイベントを支援することで、中心市街地への関心を高めるとともに、企画立案者の育成も期待できることから、効率性の高い事業である。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	公募提案型イベントへの支援であり、公平である。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	中心市街地で公募提案型イベントを実施することで、普段まちなかに訪れない方にも中心市街地の商店等への関心喚起が図られるとともに、企画立案者の育成にも寄与している。イベントの内容や天候等により集客数の変動はあるが、今後も継続して補助目的に沿ったイベントに支援していきたい。	

事務事業評価シート

事務事業コード	001926	重点事業区分	—	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	中心市街地活性化推進事業(市民交流ホール)		所属名	都市整備部 中心市街地整備課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	緑あふれる 日本一のふるさとづくり		事業期間	平成22年度 ~ 全期
	政策	02	快適で利便性の高い住みよい都市機能をつくる		根拠法令、根拠計画等	
施策	4203	中心市街地の活性化				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	中心市街地居住人口		2,504人	2,950人	運営方法	補助金交付
	中心市街地の休日の歩行者通行量(30地点合計)		73人	0人	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	市民交流ホール運営費補助金			予算事業コード	01-06-01-02-26-05

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	中心市街地内の重要な拠点である弥生にぎわい拠点(パレットとっとり)の市民交流ホール
意図 (どのような状態にするために)	多様化する市民交流ネットワークの拠点として、市民生活交流や多様な市民活動を促進し、中心市街地の賑わいを創出する。
手段 (どうするのか)	市民交流ホール運営者に対して管理運営費等を補助する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 市民交流ホール運営費補助	平成24年度 市民交流ホール運営費補助	平成25年度 市民交流ホール運営費補助	平成26年度 市民交流ホール運営費補助	平成27年度 市民交流ホール運営費補助	
	年度別実績	市民交流ホール運営費補助	市民交流ホール運営費補助	市民交流ホール運営費補助			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	12,648	12,418	17,726	0	11,898	
	直接経費 A	11,898	11,898	11,898	0	11,898	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	1,111	1,167	2,826	0	1,166
	一般財源	10,787	10,731	9,072	0	10,732	
人件費 B	750	520	5,828	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.07	0.80	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
		中心市街地の休日の歩行者通行量(30地点合計)	人	目標	36000	37000	38000	39000	40000	
			実績	40073	35671	43812	0	0		
	(指標の説明) 中心市街地の30地点の休日1日(10~19時)あたりの歩行者通行量の合計									
	2		目標		0	0	0	0	0	
			実績		0	0	0	0	0	
(指標の説明)										
3		目標		0	0	0	0	0		
		実績		0	0	0	0	0		
(指標の説明)										

5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 中心市街地整備課 0857-20-3276</p> <p>【9次総の施策体系】 4203</p> <p>【事業の概要】 市民交流ホールは単なる商業基盤でなく、市民交流ネットワークの基点であり、また中心市街地における多様な市民交流の場としての公共的な施設に位置付けられる。ホール運営は収益力が低いため、管理運営費のうち人件費の10/10、その他の管理費について4/5を補助する。 あわせて、市民交流ホールの利用料金を減免した額のうち、市内に事務所を有する団体が行う文化芸術活動等に係るものに対し補助する。</p> <p>【事業の成果】 市民交流ホールの安定的な運営、利用促進により、中心市街地の賑わいが創出された。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">利用件数</td> <td style="text-align: center;">来館者数</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">平成23年度</td> <td style="text-align: center;">552件</td> <td style="text-align: center;">20,480人</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">平成24年度</td> <td style="text-align: center;">510件</td> <td style="text-align: center;">17,346人</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">平成25年度</td> <td style="text-align: center;">508件</td> <td style="text-align: center;">17,428人</td> </tr> </table> <p>【今後の課題・方向性】 中心市街地活性化を継続的に推進するために、引き続き市民交流ホールの運営支援をおこなうとともに、より効率的な運営方法について関係者と検討する。</p>		利用件数	来館者数	平成23年度	552件	20,480人	平成24年度	510件	17,346人	平成25年度	508件	17,428人
		利用件数	来館者数										
平成23年度	552件	20,480人											
平成24年度	510件	17,346人											
平成25年度	508件	17,428人											

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	中心市街地の休日の歩行者通行量(30地点合計)	111%	96%	115%		
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	市民交流ホールは市民活動の拠点となる施設であり、目的は妥当である。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	市民交流ホールは市民活動の拠点となる施設であり、事業は有効である。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	費用対効果については平成25年度の外部評価でも指摘を受けた点であり、ホール設置者や管理者と協議しながらより効率的な運営方法について検討していく。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	市民交流ホールは市民活動の拠点となる施設であり、公平である。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	バレットと通りの市民交流ホールは、多様な市民交流の場としての公共的な役割を担っている。市民交流ホールの集客を高めることは、拠点性を高めるとともに周辺商店街への賑わい創出に資するものである。しかしながら、年々集客数が減少しており、ホール設置者及び管理者を協議を行い、費用対効果の視点も含め改善方法を検討する。	

事務事業評価シート

事務事業コード	001924	重点事業区分	—	平成25年度 第9次鳥取市総合計画	
事務事業名	チャレンジショップ運営事業		所属名	経済観光部 経済・雇用戦略課	

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	緑あふれる 日本一のふるさとづくり		事業期間	全期
	政策	02	快適で利便性の高い住みよい都市機能をつくる		根拠法令、根拠計画等	なし
施策	4203	中心市街地の活性化				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(義務)
	中心市街地居住人口		2,504人	2,950人	運営方法	外部委託
	中心市街地の休日の歩行者通行量(30地点合計)		73人	0人	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	チャレンジショップ運営費			予算事業コード	01-06-01-02-26-03

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	事業者への新規開業支援、中心市街地の空き店舗対策
意図 (どのような状態にするために)	中心市街地の空き店舗対策および創業支援策として、街なかでの創業を促し中心市街地の活性化、商業振興を図る。
手段 (どうするのか)	街なかでの出店をしやすくするため、中心市街地の空き店舗を整備した上で安価な家賃で貸し出し開業の初期投資の軽減を図る。チャレンジショップに出店中は、経営指導など具体的な支援を行い、街なかへの独立開業を促す。事業の運営、取りまとめは鳥取市中心市街地活性化協議会に、管理運営は、商店街振興組合等に委託して実施。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
内容	年度別計画	出店者の募集、入居、管理運営、広報	出店者の募集、入居、管理運営、広報	出店者の募集、入居、管理運営、広報	出店者の募集、入居、管理運営、広報	出店者の募集、入居、管理運営、広報	
	年度別実績	出店者の募集、入居、管理運営、広報	出店者の募集、入居、管理運営、広報	出店者の募集、入居、管理運営、広報			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	8,968	3,151	3,395	0	3,078	
	直接経費 A	8,593	2,780	3,031	0	3,078	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	8,593	2,780	3,031	0	3,078
人件費 B	375	371	364	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.05	0.05	0.05	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
活動指標	1	中心市街地での開業者数	件	目標	3	1	1	1	1
				実績	2	0	1	0	0
	(指標の説明) 事業実施により開業した件数								
2				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									
3				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									

5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 商業振興係 0857-20-3222</p> <p>【9次総の施策体系】 施策No.4203、5103、5104</p> <p>【予算計上の経過】 当初予算 P110 (経011)</p> <p>【事業の概要】 中心市街地の空き店舗を整備した上で安価な家賃で貸し出し、開業の初期投資の軽減を図る。チャレンジショップに出店中は、経営指導など具体的な支援を行い、街なかへの独立開業を促す。 ①チャレンジショップ1号館(瓦町507)は鳥取商工会議所に運営委託 ※入居者の自立を促すため、1/3程度の家賃を徴収する。 ②チャレンジショップ運営協議会事務委託 委託先：鳥取商工会議所 ・運営方針や出店者の決定 ・チャレンジショップの運営管理 ・出店者等に対する経営指導等</p> <p>【事業の成果】 中心市街地において新規の商業起業を促進させ、商店街が抱える店主の高齢化、後継者不足、若手起業家の育成等に寄与する支援策を講じ、商店街の活性化を図る意味で効果あった。これまで約70名が卒業し約7割が開業、中心市街地の出店を促しており一定の成果が得られた。</p> <p>【今後の課題・方向性】 運営協議会の意見を踏まえ、事業内容を見直し効率化を図ることが必要。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	中心市街地での開業者数	67%		100%		
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	中心市街地の空き店舗を活用した新規創業支援事業として、市が推進すべき事業である。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	卒業者の約7割が開業しており、成果が表れている。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	出店ニーズや費用対効果を検証し、見直しが必要。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	商業者の育成、掘り起しを目的に実施しており妥当である。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	運営協議会の意見を踏まえ、事業内容を見直し効率化を図ることとする。	

事務事業評価シート

事務事業コード	001939	重点事業区分	—	平成25年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	鳥取城跡観光推進事業		所属名	都市整備部 都市企画課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	40	緑あふれる 日本一のふるさとづくり		事業期間	平成23年度 ~ 平成26年度
	政策	02	快適で利便性の高い住みよい都市機能をつくる		根拠法令、根拠計画等	
施策	4203	中心市街地の活性化				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	建設、整備
	中心市街地居住人口		2,504人	2,950人	運営方法	直営
	中心市街地の休日の歩行者通行量(30地点合計)		73人	0人	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	街なみ環境整備事業費(久松地区)			予算事業コード	01-07-05-01-23-08

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	鳥取城跡のお堀とお堀端の道路、住宅の景観
意図 (どのような状態にするために)	鳥取城跡のお堀とこのお堀端の道路、住宅が一体となった景観形成を進める。
手段 (どうするのか)	行政と地域住民が役割分担し、住民との協働によりお堀端景観の整備を行なう。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 地元説明 整備方針 整備計画策定	平成24年度 地元説明 整備方針 整備計画策定	平成25年度 地元説明 関係機関との調整	平成26年度 地元説明 関係機関との調整 街なみ環境整備基本設計策定	平成27年度 地元説明 関係機関との調整 街なみ環境整備基本設計策定	
	年度別実績	地元説明	地元説明	地元説明 関係機関との調整			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	計画額(千円)	
	事業費(A+B)	0	0	0	0	0	
	直接経費 A	0	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	0	0	0	0	0
人件費 B	0	0	0	0	0		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
		街なみ環境整備基本設計策定		目標	0	0	0	1	0	
			実績	0	0	0	0	0		
	(指標の説明) 鳥取城跡のお堀端の景観整備に関する基本設計									
	2	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
		街なみ環境整備基本設計策定		目標	0	0	0	0	1	
		実績	0	0	0	0	0			
(指標の説明) 鳥取城跡のお堀端の景観整備に関する実施設計										
3	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
			目標	0	0	0	0	0		
		実績	0	0	0	0	0			
(指標の説明)										

5. 平成25年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	【問合せ先】 景観形成係 0857-20-3271
	【9次総の施策体系】 4201
	【事業の概要】 鳥取城跡のお堀端に面する東町一丁目・二丁目・三丁目の区域は、武家屋敷跡という歴史的背景をもっているが、鳥取震災、鳥取大火の影響もあり当時の面影を伝える建物は残されていない。鳥取城跡は市内観光の拠点であり、訪れる人が城下町の面影を感じることができる方策を検討するとともに居住している人の生活空間の整備方針を策定する。
	【事業の成果】 城跡、お堀端の特性を活かした街なみ整備により、住民の定住化促進、観光振興による地域活性化並びに地域文化の継承を図る。
	【今後の課題・方向性】 地域住民および関係機関等と協議してきたことを踏まえ、お堀端の美舗装化、電線地中化などに関する街なみ環境整備基本設計を策定することにより、お堀端の景観整備を図る。

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	街なみ環境整備基本設計策定					
	2	街なみ環境整備基本設計策定					
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
目的の妥当性 <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	城跡、お堀端の特性を活かした街なみ整備により、住民の定住化促進、観光振興による地域活性化並びに地域文化の継承を図る。
事業の有効性 <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	鳥取城跡周辺の良好な景観形成を図り、地域の活性化と観光推進を図る。
資源投入の効率性 <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	街なみ整備について、地域住民の方々と意見交換を実施し、今後の城跡周辺の環境整備、良好な景観の形成を図る。
サービスの公平性 <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	多くの地域住民及び観光客にとって、良好な景観形成を図ることができる。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	引き続き事業の推進を図る。	